

2016年6月10日～12日

第65回（公社）全日本鍼灸学会学術大会 北海道大会 “実技セッション” 報告

会場：札幌コンベンションセンター



大会テーマ

『これからの日本の医療を担う鍼灸』

当院の吉川正子院長は3日目（6月12日）の
10：30～12：00で、実技講演を任されて、

“傷寒論鍼灸配穴選注”より学ぶ“陰陽太極鍼”というテ
ーマで行ないました。

“傷寒論”は湯液の書として、最も重視されている本ですが、単玉堂著の“傷寒論鍼灸配穴選注”という書を読むと、湯液よりも鍼灸治療においてこそ重要な本であると分かり、この中に書かれている内容を“陰陽太極鍼”を通じて、どう理解し活用できるのかを発表致しました。



実技発表では、3人の患者さんに対して“陰陽太極鍼”を披露しました。

患者さんの変化していく様子を熱心に見学する方も多かったです。

ある鍼灸師のブログに、

『極め付きは最終日の実技セッションに登場した吉川正子先生。

「陰陽太極鍼」と名付けられた、その技はモデル患者の主訴を片っ端から短時間で軽快させていきます。それも鍼をさすのではなく皮膚に接触させるだけなんですね。圧巻でした。勉強してみたくくなりましたね。』

というコメントをされた方もいました。

今回も好評の内に終了致しました。